



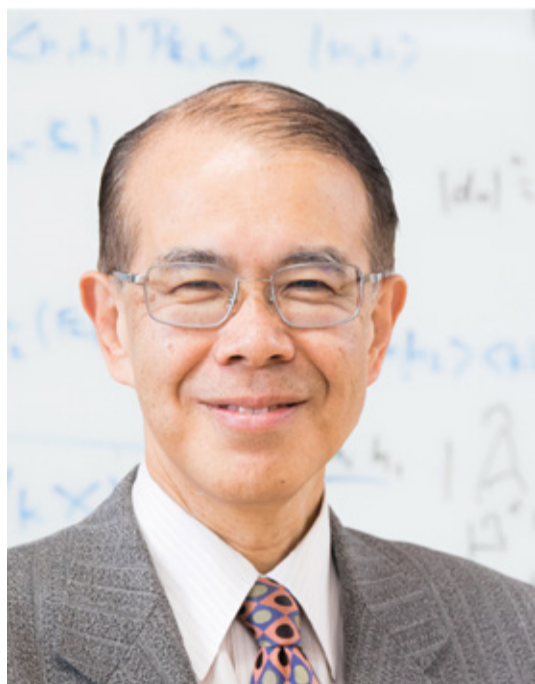
Meiji University  
Center for Mathematical Modeling and Applications

# CMMMA Colloquium

第44回 現象数学コロキウム

# 44

## 性転換と環境性決定： 多様な性のあり方を 数理モデルで理解する



講演者：関西学院大学 巖佐 庸  
Yoh IWASA

2019年 11月26日(火)

17:30 ~ 18:30

明治大学 中野キャンパス高層棟6階 研究セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート

文部科学省 共同利用・共同研究拠点  
現象数学研究拠点



Abstract :

環境や社会的地位に応じて性を変える性転換や、雌雄のいずれに発生するかを変える環境性決定は、多くの動物で知られている。これらの多様な性のあり方を理解するための数理モデルを紹介する。

[1] 岩場やカニの甲羅に着くフジツボには、ごく小さな雄(矮雄)、雌雄同体、雌がみられる。それらが、どのような環境条件で出現するのだろうか。

[2] サンゴ礁の魚には、社会的地位に応じて性を変化させる種が多い。その中には、現在の性の生殖巣に加えて異なる性の生殖巣も保持する種がいる。

[3] カメやワニ、一部の魚などでは、卵の孵化温度によって雄になるか雌になるかが決まる。それが酵素反応速度の温度依存性によるとすれば可能か。

■連絡先

東京都中野区中野 4-21-1 明治大学中野キャンパス 8階  
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail : mims@mics.meiji.ac.jp